

# 令和4年度 原子力工学大学院博士課程奨学生 募集要項

一般社団法人 日本電気協会

将来わが国の大学原子力工学部門の教授職として、教育・研究に取り組むことを目指している大学院博士課程（後期）の学生を対象に、奨学金を支給いたします。

1. 給付額	月額8万円（返還義務はありません）
2. 給付期間	博士課程（後期）3年間のうち、学生の指定する2年間（4月～翌々年3月までの24か月間） ただし、日本学生支援機構以外の有力な奨学制度の奨学生等（日本学術振興会特別研究員等）に採用された場合には、支給を打ち切ります。
3. 応募資格	わが国大学において原子力関連工学に関する研究を行う学生で、次の①、②のいずれかに該当する方 ただし、社会人学生（企業等に所属し給与を得ている者）および外国人留学生（帰国予定）は除きます。 ①令和4年4月に大学院博士課程（後期）に進学予定の修士課程・博士課程（前期）学生 ただし、博士課程（後期）に進学しなかった場合は採用を取消します。 ②現在、大学院博士課程（後期）1年在学生
4. 募集人数	若干名
5. 応募受付期間	令和3年10月1日（金）～11月19日（金）
6. 提出書類	①原子力工学大学院博士課程奨学生申込書（本会ウェブサイトに掲載） ②学部および修士課程・博士課程（前期）の成績表 ③原子力関連工学の大学院専攻長および応募者の指導教官の推薦書 ④博士課程（後期）における研究計画（執筆要領参照） <u>選考にあたっては、原子力発電（核燃料サイクル、廃炉を含む）及びFBR等次世代炉に関連する研究を計画していることを重視します。</u> このほか、核融合工学、原子力エネルギー変換等に関する研究も対象に含みます。 ⑤「原子力と地球環境」または「わが国における原子力政策」に関する提言論文（執筆要領参照）
7. 応募方法	上記提出書類をPDF形式で事務局宛にメールで提出のこと。
8. 選考方法	上記提出書類に基づき、選考委員会（委員長：大橋 弘忠・東京大学名誉教授）において選考いたします。
9. 結果通知	令和4年2月中に各応募者に採否を通知します。 （応募書類は返却いたしません）
10. 実績校	北海道大、東北大、筑波大、東京大、東京工業大、名古屋大、福井大、京都大、大阪大、近畿大、神戸大、九州大

# 令和4年度 原子力工学大学院博士課程奨学生募集要項

## 研究計画・提言論文 執筆要領

### 1. 博士課程(後期)における研究計画について

- (1) 研究計画に題名を付けて表記してください。
- (2) 研究目的(背景、問題意識)、研究計画と研究方法(修士課程での研究の進展状況と博士課程に進学して何をどこまで明らかにしようとしているか)、研究の特徴、予想される研究結果、研究結果の意義(原子力関連工学の発展に寄与する理由等)について、3,000~5,000字程度で全体にわかりやすく具体的に記述してください。
- (3) これまでに研究発表(口頭および論文)の実績があれば、末尾に別途記載してください。

### 2. 提言論文(テーマ①または②を選択)

テーマ①「原子力と地球環境」

テーマ②「わが国における原子力政策」

日頃、原子力関連工学の研究に取り組む中で得た貴方の原子力に対する提言を5,000字程度で作成してください。

### 3. 作成方法

- (1) パソコンで、A4判用紙を縦長40字×30行で使用して作成してください。
- (2) 論文中で引用または参考にした文献は、著者名・題名・出版社名・掲載誌名・発行年月日・引用した場合の引用頁等を別紙に明記し、論文の末尾に添付してください。なお、文献および図表は文字数として数えません。
- (3) 脚注が必要な場合は、必ず同一ページの最下段に記入してください。脚注は文字数として数えます。

以上

ご応募・お問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

#### 【事務局】

一般社団法人 日本電気協会 総務部

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1

有楽町電気ビル北館4階

TEL 03-3216-0559 E-mail kouho@denki.or.jp

<https://www.denki.or.jp>

